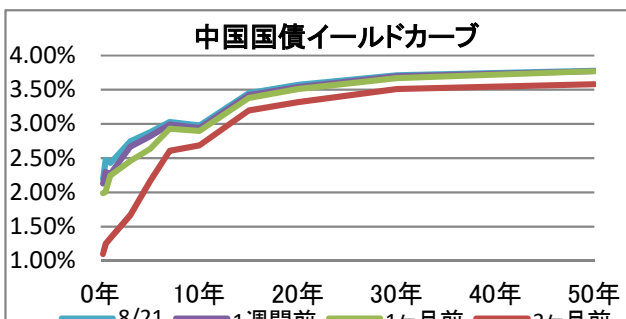
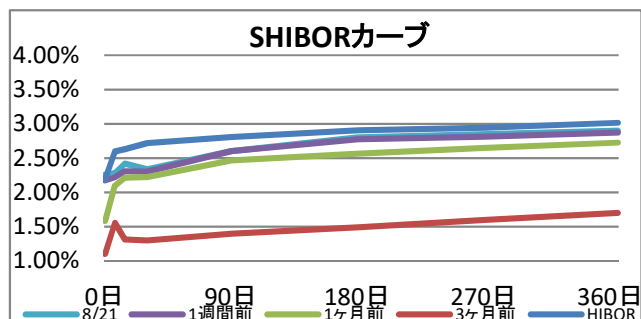


① 市場概況

基準レート		2020/8/21	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.9107	-0.0298
	JPY/CNY	6.5352	0.0474
SHIBOR	3M	2.6010%	+0.0000%
国債利回り	10年	2.98%	+0.04%
上海総合指数		3,380.68	+20.58



(1) 概況

地方債増発による資金需給悪化が懸念される中、中国人民銀行の積極的な資金供給姿勢や一旦は中止が伝えられた米中通商協議開催への期待からやや楽観的な様子も見られたが、米国が香港との犯罪人引渡しを含む合意事項の停止に踏み切る等、楽観ムードが拡大する状況とはならなかった。また、米FRBのFOMC議事録におけるYCCに対する否定的な意見が確認された後は、ドル金利低下期待の反動からドル安トレンドの巻き戻しが見られた。

このような中、中国金融市场では、先週末までの株高と債券安（利回り上昇）が一服し、外為市場では人民元対ドルで7ヶ月ぶりの高値を示現する展開となった。

(2) 金融調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日5,000億元に対し新規オペ6,600億元、MLF期日4,000億元に対し新規MLF7,000億元（金利は前回と同レートの2.95%）、中央国庫現金管理商業銀行定期預金500億元を同条件でロールオーバーし、差し引き4,600億元を供給している。

(3) 主な経済指標

特になし。

② 資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	2.2580%	2.6000%	1.8000%	
1W	2.2800%	3.2490%	2.2200%	2.3000%
2W	2.4220%	2.5000%	2.5700%	
1M	2.3390%	2.5400%	5.9000%	2.4000%
3M	2.6010%	3.8000%	3.6000%	2.6400%
6M	2.8020%	3.0000%		2.8700%
9M	2.8490%	3.0490%		2.9100%
12M	2.9000%	3.9000%		2.9400%

中国人民銀行は、地方債の増発が続き金融システム内の資金需給がタイトになっていることから積極的な資金供給を行っているものの、MLFとLPRの金利水準を維持することにより中立的な金融政策に変更がないことを示している。市場内には必要な資金は供給されるとの安心感から資金を取り急ぐ向きは引き続き見られず、タタム物は1ヶ月が2.40%前後で出合っている以外は閑散な状況が続いている。

NCDも、資金需給のタイト化の影響から若干金利水準が上昇しているものの、高めの金利水準での資金運用ニーズは高く、金利上昇余地は限定的になっている。タタム物の金利水準は1ヶ月2.40%前後、3ヶ月2.60%前後、6ヶ月2.85%前後、1年2.90%前後にそれぞれ若干上昇しながら活発な取引が続いている。

(2) 米ドル資金（本土内）

	BID	OFFER
ON	0.03%	0.04%
1W	0.07%	0.10%
1M	0.18%	0.20%
3M	0.40%	0.45%
6M	0.60%	0.65%
12M	1.00%	1.10%

国外からの資金流入活発化も手伝ってかドル資金需給は安定しており、積極的な調達が見られない中で1ヶ月が0.18%、3ヶ月でも0.40%で取引されている。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	2.20%	2.23%	2.57%	2.74%	3.02%
6M	2.48%	2.48%	2.82%	2.94%	3.21%
1Y	2.43%	2.44%	2.94%	2.96%	3.26%
3Y	2.75%	2.90%	3.35%	3.51%	3.90%
5Y	2.88%	3.07%	3.53%	3.87%	4.50%
10Y	2.98%	3.48%	3.78%	4.11%	4.84%

債券市場では、地方債増発に伴う資金需給のタイト化を懸念して弱含みで始まったものの、中国人民銀行のMLF増額と
その後の積極的な資金供給姿勢を確認すると漸く中長期債利回り上昇幅が縮小することとなった。

イールドカーブは全体的な上方シフトが起こる中で短期の資金需給悪化を映じて短期の上昇幅が相対的に大きいベアフラットニングとなり、クレジットスプレッドも短期の利率債利回りの上昇幅が大きかったことから中期ゾーンまでは縮小に転じているものの、中長期ではほぼ変化が見られなかった。

中国人民銀行傘下の中国外為取引センター（CFETS）は19日に、中国国内債券市場への国外金融機関の直接参加を9月1日から開始することを公表している。従来は、Bloomberg等を利用した香港経由の「債券通」を推進していたことから、対外開放を一段と進める姿勢を示すものとなっている。

④先物為替市場

	USD / CNY
1W	34.1 / 35.0
1M	142.0 / 145.0
3M	405.0 / 410.0
6M	765.0 / 784.0
9M	1081.0 / 1091.0
12M	1370.0 / 1396.0

対ドル基準レートは6.9107と前週末比-298pipsのドル安元高、対円基準レートは6.5352と同+474pipsの円安元高と、再度対ドルでの元高を映じた水準で設定されている。市場取引においても、世界的なドル安に加えて米中通商協議に対する思惑や投資資金の流入もあって一時6.90台を割り込む7か月ぶりの元高となったものの、月末を見据えたドル資金カバーも入って6.92台まで戻している。

先物は、ドル金利の低位安定と人民元短期金利の高止まりが続き、金利差に大きな変化がなく、国外からの人民元建て投資需要が極端に高まることもなく、スワップ幅に大きな変化はなかった。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.41%		2.05%
6M	2.43%	2.80%	2.05%
9M	2.44%	2.80%	2.15%
1Y	2.45%	2.81%	2.15%
3Y	2.61%	3.08%	2.25%
5Y	2.75%	3.31%	
7Y	2.87%	3.49%	
10Y	3.04%	3.70%	

短期の基準金利の上昇と長期の債券利回りまで上昇に転じたことから、スワップ金利も上昇に転じている。債券利回りとの金利差のスワップスプレッドは、先週同様に短期債利回りが大きく上昇していることから、短期から中期ゾーンにかけて一段と縮小している。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。